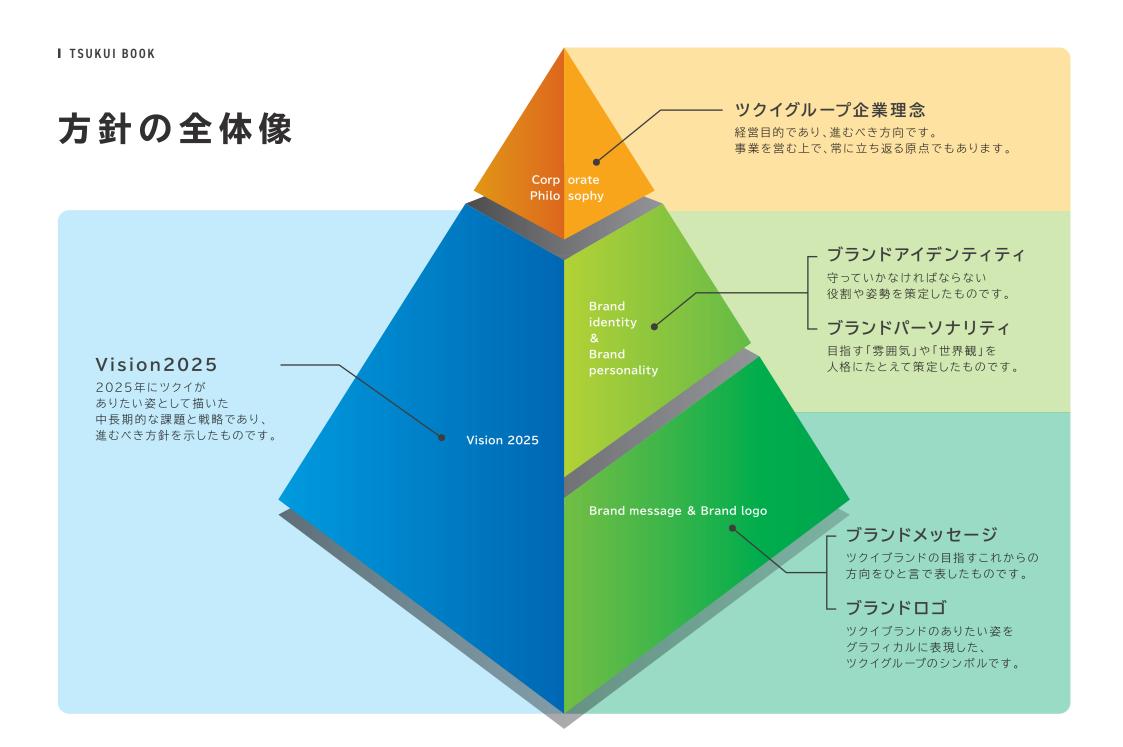
TSUKUI BOOK

ツクイグループ ブランドブック



ツクイグループ企業理念



Corporate Philosophy

「超高齢社会の課題に向き合い 人生100年幸福に生きる時代を創る」

高度成長期のインフラを作る土木事業から始まったツクイは、 1983年に創業者の想いから介護事業を始め、 お客様に向き合い、地域から信頼される「介護のツクイ」へと進化しました。

「人生100年時代」

超高齢社会の課題解決に、わたしたちはどう向き合っていくのか。 この先、お客様の生活をどう支えていくのか。

「介護のツクイ」から、

「人と社会が抱える"介護"の課題に向き合い、解決するツクイグループ」へ。 従来の介護を超え、その人らしい人生をサポートするために、 グループが一体となり新たな価値を創造していく。

人生100年を幸福に生きる時代へ。 わたしたちの誠実な挑戦が、だれかの希望と安心になることを信じて。

Mission

「使命・企業としてどうありたいか」

超高齢社会の課題に向き合い 人生100年幸福に生きる時代を創る

Vision

[実現したい未来]

ながいきリスクを希望に変えて 自分らしく生きられる未来を創造する

Value

「大切にしたい価値観」

わたしたちの誠実な挑戦が、 だれかの希望と安心になる。

グループ会社紹介

Group Company Introduction

株式会社ツクイ



株式会社ツクイ

設立 2020年5月 (創業 1969年6月) URL https://corp.tsukui.net/

デイサービスを中核とした在宅介護サービス(訪問介護、訪問入浴、居宅介護支援 ほか)、居住系介護サービス(介護付有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム ほか)、在宅看護サービス(訪問看護、ホスピス)を展開しています。お一人おひとりに寄り添ったサービスで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らすことができる社会と「人生100年幸福に生きる時代」の実現に貢献します。

株式会社ツクイスタッフ





株式会社 ツクイスタッフ

設立 2016年1月

URL https://corp.tsukui-staff.net/

介護・医療業界に特化した人材サービス事業として、人材派遣・紹介予定派遣サービス、人材紹介サービス、教育研修サービスを展開し、人材の採用・育成・定着とその課題解決に向けた業務支援をワンストップで提供しています。全国に支店を有する強みを生かし、求人者・求職者および高齢者を支える介護・医療事業者を多方面から支援します。

株式会社ツクイキャピタル



株式会社ツクイキャピタル

設立 2017年4月

URL https://www.tsukuicap.co.jp/

福祉車両や福祉機器のリースとメンテナンスサービスを提供し、コスト負担の大きい福祉機器導入の課題を解決するソリューションや、きめ細かなサポートサービスに取り組んでいます。「リースで福祉を支える」をスローガンに、介護を必要とするお客様と、それを支える介護事業者の発展に貢献します。

関連会社|ツクイ・ケアテック投資事業有限責任組合

株式会社DIGITAL LIFE



株式会社 DIGITAL LIFE

設立 2020年9月

URL https://www.digital-life.co.jp/

情報システムの導入とデータ収集・活用を支援するヘルスケアIT事業、シニア向けWebサービス事業、仕事と介護の両立支援をおこなっています。介護サービスで培った経験と、先進的なデジタルの力で、超高齢社会に生きる人々の人生に寄り添い、さらに、その人生を支える人・企業・地域が直面する課題に対し、価値あるソリューションを提供・創出します。

■ 株式会社 Grasol



株式会社Grasol

設立 2021年7月(2023年3月 特例子会社認定)

URL https://t-grasol.co.ip/

ックイグループ各社のオフィスサポート業務を中心に、障がい者雇用に関する就労・定着支援、雇用管理、事業所・施設・住宅の清掃業務を展開しています。障がいの有無に関わらず個性を認め合える社会を実現するため、一人でも多くの人に働ける場と働く喜びを提供し、時には壁にぶつかりながらもそれを乗り越え、いきいきと自立した生活が送れる社会を創造していきます。

TSUKUI PLAN VIETNAM COMPANY LIMITED



TSUKUI PLAN VIETNAM

設立 2022年1月

URL https://vn.tsukui.net/

急速に高齢化が進んでいるベトナムで、介護サービスの普及とそれを支える技能実習生の受け入れに積極的に取り組んでいます。ベトナムで日本流の「KAIGO講座」を展開し、長年介護事業に取り組んできたックイグループが持つノウハウで、今後ベトナムにも訪れる高齢社会を支えるべく、付加価値の高いサービスを提供していきます。

グループ会社紹介

Group Company Introduction

株式会社アカリエ



設立 2014年5月

URL https://akarie.co.jp/



介護とITの二つを軸に超高齢社会を支える各種サービスを展開しています。介護事業では「その方らしい生活の選択肢」をご自身で選べるようにサポートし、IT事業では高齢者・ご家族・介護従事者のニーズに応えるプロダクトやサービスを企画開発しています。介護業界をテクノロジーの力で変えるべく、心のこもった支援を徹底します。

株式会社ゆいゆい



設立 2021年1月

URL https://www.yuiyui-okinawa.com/



「医療・介護を必要とする方々の日常生活の向上に貢献する」という志を掲げ、沖縄県で訪問看護・訪問介護・医療施設型ホスピスを展開しています。お客様が最期まで安心して生活できる自宅のような温かい環境を実現し、どんなときもその人らしく過ごせるよう、たくさんの縁を結び豊かな気持ちになれる場所を目指しています。

Vision2025

新体制で目指す新たな目標 Vision 2025



中長期的な自社の「ありたい姿」を示している「Vision2025」では、

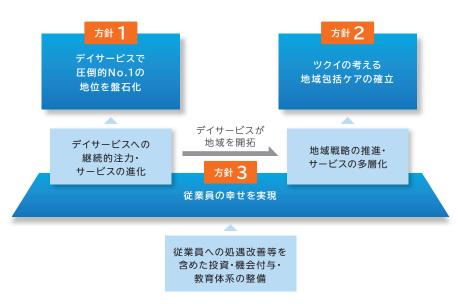
方針 1 デイサービスで圧倒的No.1の地位を盤石化

方針 2 ツクイの考える地域包括ケアの確立

方針 3 従業員の幸せを実現

という3つの大方針を掲げています。

日本でいちばん利用されているデイサービスのさらなる発展を図りながら、理想的な地域包括ケアの実現に 寄与し、さらにツクイの成長力の源泉であり最大の資産である従業員の満足度を高めていきます。



皆さん一人ひとりの力を合わせて、グループ全体でVision2025の実現に向かっていきましょう。



ツクイグループ中期経営計画(2021-2025)

TSUKUI Group's Medium-Term Management Plan

グループの合言葉

超高齢社会の課題に向き合い 人生100年幸福に生きる時代を創る

グループ中期経営計画のポイント

- 1. 在宅生活(最後まで家で暮らす)を支える
- 2. グループー体運営でシナジー効果の最大化
- 3. 保険外事業の拡大による収益力の強化

TKIを中心としたグループの一体運営

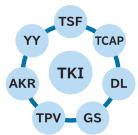
TKI: 株式会社ツクイ

TSF: 株式会社ツクイスタッフ TCAP: 株式会社ツクイキャピタル DL: 株式会社 DIGITAL LIFE GS: 株式会社 Grasol

TPV: TSUKUI PLAN VIETNAM

 AKR: 株式会社アカリエ

 YY: 株式会社ゆいゆい



■株式会社ツクイ

次の時代に向けての事業変革

人と社会が抱える超高齢社会の課題に向き合い解決するグループへ

- 在宅生活を支える「保険外事業」の拡充と創出
 - ① テクノロジーを活用した新たなサービスの創出
 - ② 潜在顧客(要介護前のお客様・お客様のご家族等)へのアプローチ
 - ③ 社会情勢に左右されない安定した収入

2 保険外事業に係る情報一元管理と事業化判断

- ①ミライ想造部による保険外事業に関するリソースの集約
- ② 各社での重複事業を防ぎ、主担当となる会社を決定

【リソースの集約(情報一元管理)フロー】

各社の役割を明確にしてダブりをなくす



デイサービスを中心に在宅介護サービスの更なる成長と地域包括ケアの進化

- 在宅生活(最期まで家で暮らす)を支える(通い・訪問・泊り+医療)
- ① 多層化エリアへ訪問介護・訪問看護の強化・拡大(出店・M&A)
- ② 訪問系サービスの採用・育成・定着・ACT化の推進
- ③ 泊り ⇒ 各地域でのニーズの掘り起こし

2 住まいの進化

- ① 賃料の適正化・サービス組み合わせ(介護・医療)
- ② 多様な出店方式(管理業務受託・リノベーション) *年金収入で暮らせる住まいの提供
- ③ グループホーム(多層化)出店

3 実効性を最大化する改革

※現場(事業所・ブロック):良いサービスでたくさんの顧客(ファン)を徹底的に増やす ※本社(攻めと守り):現場がより顧客により向き合えるサポートを徹底する

- ① 現場(顧客)と本社(現場サポート)の役割と責任、評価の明確化 *現場のサービス以外の負担軽減(間接業務削減)
- ②各デイサービスが利用率80%を達成する事を第一優先に。編成も評価も連動した仕組みへ *営業効率化と可視化 *ブランドの確立 *横展開による標準化
- ③ 赤字事業所の撲滅(改善)… 地域戦略の見直し、再構築(統廃合含む)

ツクイグループ中期経営計画(2021-2025)

TSUKUI Group's Medium-Term Management Plan

■株式会社ツクイスタッフ

収益力の創出

- 事業の磨き込み
- ① 人材派遣・人材紹介の量的拡大
- ② 営業・販管システムの効果的運用による生産性向上
- ③ 応募数の引上げと、成約プロセス進化による就業決定率の引上げ
- 2 領域拡大事業の収益化
- ① 人財サービスバリューチェーン(採用・育成・業務支援)の拡大
- ② 教育研修事業とRPO事業の収益化
- 3 成長実現の組織を創る
- ①変化に挑戦する人財の輩出と組織改革による生産性向上
- ② M&A・アライアンスによる事業拡大

■株式会社ツクイキャピタル

リース事業の外販拡大と保険事業の確立

- リース資産と付加価値商品の積み上げ(外販の拡大)
 - *新車リース、セカンドリース、受託業務等
- ① 大手介護事業者への直接営業(TCAP)
- ② 中小介護事業者への間接営業(グループ連携での紹介営業)
- 2 リースアップ福祉車両マーケットの確立
- ① セカンドリース
- ② 売却手法・売却先
- 3 保険事業の確立
 - ① グループ内:グループ内企業契約の取込み、職域団体制度の創設
 - ② グループ外:介護施設オーナーやグループ取引業者の営業開拓
 - ③ M&A:代理店買収による事業拡大の加速化

■株式会社DIGITAL LIFE

ケアシステムの安定稼働とシステム付加価値サービスの追求

- ケアシステムの安定稼働と在宅生活可視化に向けた改革
 - ① ケアシステムの安定稼働と次期ケアシステムの開発構想
 - ② 在宅生活を支えるための可視化実現に向けた改革
 - ③ 業務効率化のためのICT導入支援
- 2 グループ全体におけるITガバナンスの構築
 - ①IT関連組織のグループ内再配置
 - ②ITガバナンス構築のための要員確保と業務推進
- る 高齢者をターゲットとしたWEBサービスの開発
 - ① EC+検診サービスの実証実験と事業性判断
- ② WEB事業継続のためのICT基盤の構築

■株式会社Grasol

障がい者雇用の促進と安定化

- グループ各社のオフィスサービス等の業務受託
 - ・業務集約化によるグループ全体の業務効率化
- 2 新たなサービスづくり
 - ・外注業務の内製化によるグループ全体の経費削減
- ⑤ 障がい者・高齢者の就労支援
 - ① 障がい者の法定雇用率をグループ全体で安定的にクリア ツクイグループで費用が大きなものから見直し、事業展開へ
 - ② 多くの障がい者や高齢者の雇用創出による社会貢献



ブランドアイデンティティ

Brand identity

ブランドアイデンティティとは、企業の「ありたい姿」と言い換えることができます。 従業員の皆さんがブランドアイデンティティを意識し、それらに基づいた行動をとる ことで、「ありたい姿」の実現が可能となるのです。

理想の企業像

事業を通して、 目指す姿や 社会のために果たす役割 「超高齢社会の課題に向き合い人生100年幸福に生きる時代を創る」人と社会が抱える"介護"の課題に向き合い、新たな価値を創造し解決するツクイグループ。

提供価値

提供されるサービスや 事業によって感じる 顧客の感覚やメリット 介護事業で全国展開することはもとより、親身になって一生懸命 対応してくれる姿勢と品質の高さから、安心してサービスを利用 したくなる。

創造力を持って新たな事業等を展開してくれるため、地域の 方々にとって豊かな生活が実現でき、充足感が得られる。

行動姿勢

従業員としての 心構えと行動 誠実な姿勢で、 ニーズを聴き取り 真摯に向き合う。 自ら意見や アイデアを考え 生み出し、 行動することで 実現する。

社外との連携や 新たな取り組みに 挑戦する 姿勢を持つ。

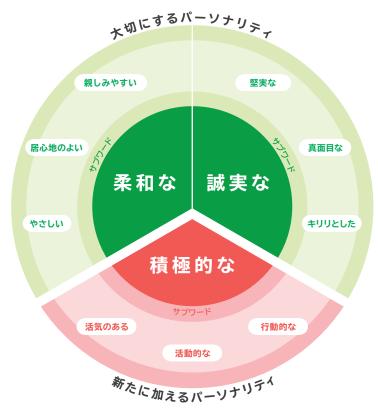
事業領域

既存の事業領域、 また今後展開して 行こうとする事業領域 「超高齢社会の課題に向き合い人生100年幸福に生きる時代を創る」の実現のため、介護事業(介護保険)を展開するツクイのお客様の在宅生活を支え、そして在宅生活を"見える化"するために必要なことを保険外事業として展開。

ブランドパーソナリティ

Brand personality

ブランドパーソナリティとは、企業として目指す「雰囲気」や「世界観」を表現したものです。 デザイン表現等を作成する際、これらのキーワードをもととすることで、表現を統一させ ます。



柔和な

介護事業を長年展開するなかで培ってきたキーワード。新規事業を展開しても根本的なツクイグループ のイメージを形成する軸であり、あらゆる表現のベースとして継承させていきます。

誠実な

大切にしたいキーワード。「柔和な」パーソナリティと併せ持つことで、顧客にとってやさしいだけの存在ではなく、誠実に物事に取り組み、良質なサービスを提供してくれるイメージを示しています。

積極的な

「内向的」「慎重」といったイメージを払しょくし、新しく感じてもらいたい雰囲気として、全従業員が自らアイデアを考えたり、外部との連携をとる等、より主体的に業務に向かう姿勢を表現します。



Brand message

今ある未来の、その先へ。

1983年に介護サービスを始めたツクイ。 訪問入浴からスタートし、 一つひとつ私たちにできることを増やし、 さまざまなサービスを提供できる会社へと 成長を遂げました。 しかし、私たちは、このまま 現状にとどまるつもりはありません。

これからは、ツクイグループのさらなる発展を目指し、 お客様からニーズを抽出し、事業化を進め、 介護保険外の事業にも積極的に挑戦していきます。 皆さん自身も、そのようなチャレンジ精神を持って、 仕事に励んでいってください。

地域の生活をもっと豊かにするために。 今ある未来のその先を、ともに目指していきましょう。

ブランドロゴ

Brand logo

今ある未来の、その先へ。



ロゴマーク解説

太陽をかたどったモチーフは私たちにかかわるすべての人をあたたかく包みこむツクイグループの企業像を示しています。中心に位置するグリーンの円は長年培ってきた雰囲気をイメージし、円を囲み外へ広がる4色はこれからの姿勢を表しており、挑戦の「レッド」、誠実の「ブルー」、安心の「グリーン」、希望の「イエロー」で構成されています。

ツクイグループの従業員が心がける4つの姿勢

ロゴマークの4色には、それぞれ想いがこめられています。



挑戦

Challenge

今の自分に満足しないこと。新しい自分に 挑戦していくこと。常に同じことを繰り返す ばかりではなく、自ら考え、新たな提案や 行動を実践しましょう。



誠実

Honesty

一つひとつの仕事を誠実に。真心をこめて 取り組み、感謝の心を忘れない。お客様に とって頼りになる存在となりましょう。



安心

Reliability

年を重ねても安心して過ごせる暮らし。それは、 人々が望む、かけがえのない暮らしです。その 「安心」をしっかりと提供できる存在になり ましょう。



希望

Hope

地域の生活をもっと豊かにするために。 「挑戦」「誠実」「安心」の姿勢を通して、日本 のあらゆる地域の暮らしに「希望」を届ける 企業になりましょう。

あなたが心がけることを具体的に書いてみましょう。				

ブランドとは

Brand

世の中にあるさまざまな企業、商品、サービスに対して 一人ひとりが頭のなかに思い浮かべるイメージ。 それがブランドです。

ブランドとは、

イメージからつくられる目に見えない価値のことを言います。

ブランドを築くことは、とても大切なことです。

人が何かを選ぶとき、

「あのブランドのスマートフォンが良い」

「あのブランドのクルマが良い」等、

ブランドが選択理由となることが多くあります。

つまり、ブランドを築くことは、

競合他社との差別化になり、ひいては、

長期的なお客様の獲得につながるということです。

では、ブランドをつくるにはどうしたら良いのでしょう。 それは「良いイメージの積み重ね」です。

商品やサービスに触れたとき、そこで蓄積された 良いイメージが企業のブランドになっていきます。 ツクイグループに置き換えれば、一人ひとりの行動や、 ふるまいがツクイブランドを築いていく、ということです。 真心のこもった介護、電話応対での印象、ご家族との会話。 お客様のみならず、地域社会や取引先と接するときの 私たちのふるまいが、かかわるすべての方のなかに ブランドイメージとして蓄積されていきます。 そのイメージが良いほど、ポジティブな印象は高まり、 ブランドの力は強くなっていきます。

これからも、末永く選ばれるブランドであるために。 「挑戦」「誠実」「安心」「希望」を心がけ、 より強く、より信頼されるブランドづくりに、 取り組んでいきましょう。

あなたのふるまいが、 ツクイのブランドになります。

創業者の思い

創業者の介護に対する思いは、ツクイの介護に対する思いです。 この思いを忘れずに、日々の仕事に取り組んでいきましょう。

介護に悩む方々の、支えになりたい。

津久井土木株式会社を創業して以来、会社の業績は順調に伸びていく一方で、私生活では大きな問題に 直面しました。母に認知症の症状が現れたのです。兄妹で話し合った末に実家の近くの病院に入院する ことになりました。当時は認知症の理解が進んでおらず、母のような患者は「ボケ」や「痴呆」とひと くくりにされ、手に負えない患者だと思われていました。

特に母は小柄な割に力が強く何かと問題を起こすことが続き、とうとうその病院では預かれないと言われてしまいました。その後あちこちの病院をたらい回しにされた揚げ句、兄夫婦が引き取ることになりました。私はできる限り時間をつくり、山梨の兄の家へ足を運びましたが、認知症になった母の顔を見るのも、介護に疲れ果てた兄夫婦の姿を見るのも、本当に辛いことでした。そのときに私は初めて介護する家族の苦労を知ったのです。

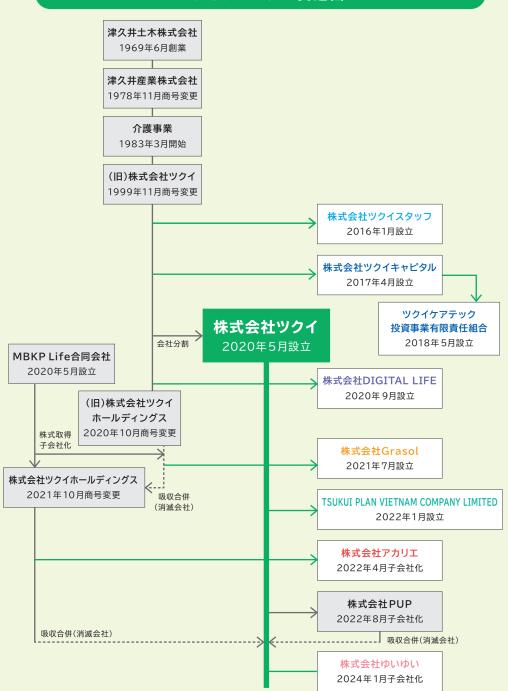
「女手ひとつで育ててくれた母に親孝行がしたい」「兄夫婦の力になりたい」と思いつつ、何もできずにいた私の背中を押す出来事が起きたのは1983年のことです。会社の資材置き場をめぐって、ある問題が浮上しました。周辺に住宅が建ち並び始め、夜間に騒音を出してしまう資材置き場の使用が難しくなったのです。解決するための有効な利用方法を横浜市に相談したところ、公園用地として提供するか、福祉施設を建てるか、という二つの案が提示されました。「この場所に母のような認知症の方たちが入れる施設を造れるかもしれない」。そう思うと決断するのに何の迷いもありませんでした。早速調べてみると、当時、母のような症状の方たちを受け入れられるのは特別養護老人ホームだということ、また、その数が不足していて待機者が多いことがわかり、私は必要性を感じました。さらに、特養を設置・運営できるのは、都道府県や市町村か社会福祉法人に限られていると知り、私はすぐに設立の準備を進めました。しかし、残念ながら開設を前に母はこの世を去ってしまったのです。

「母のために」という思いで始めた福祉事業ですが、そのときに抱いた「介護で人の役に立ちたい」という願いは、昔も、今も、これからも変わりません。介護に悩む方々の心の支えになること。ツクイで働くすべての方々は、この思いを大切に介護に励んでほしいと思います。



参考資料:介護の会社の創業者の思い

ツクイグループの変遷図



今ある未来の、その先へ。

